

アブラギリ分布状況調査結果

屋久島島内のほぼ全域の裸地等に、外来種のアブラギリが侵入し、競合する固有種への影響等が懸念されているところです。

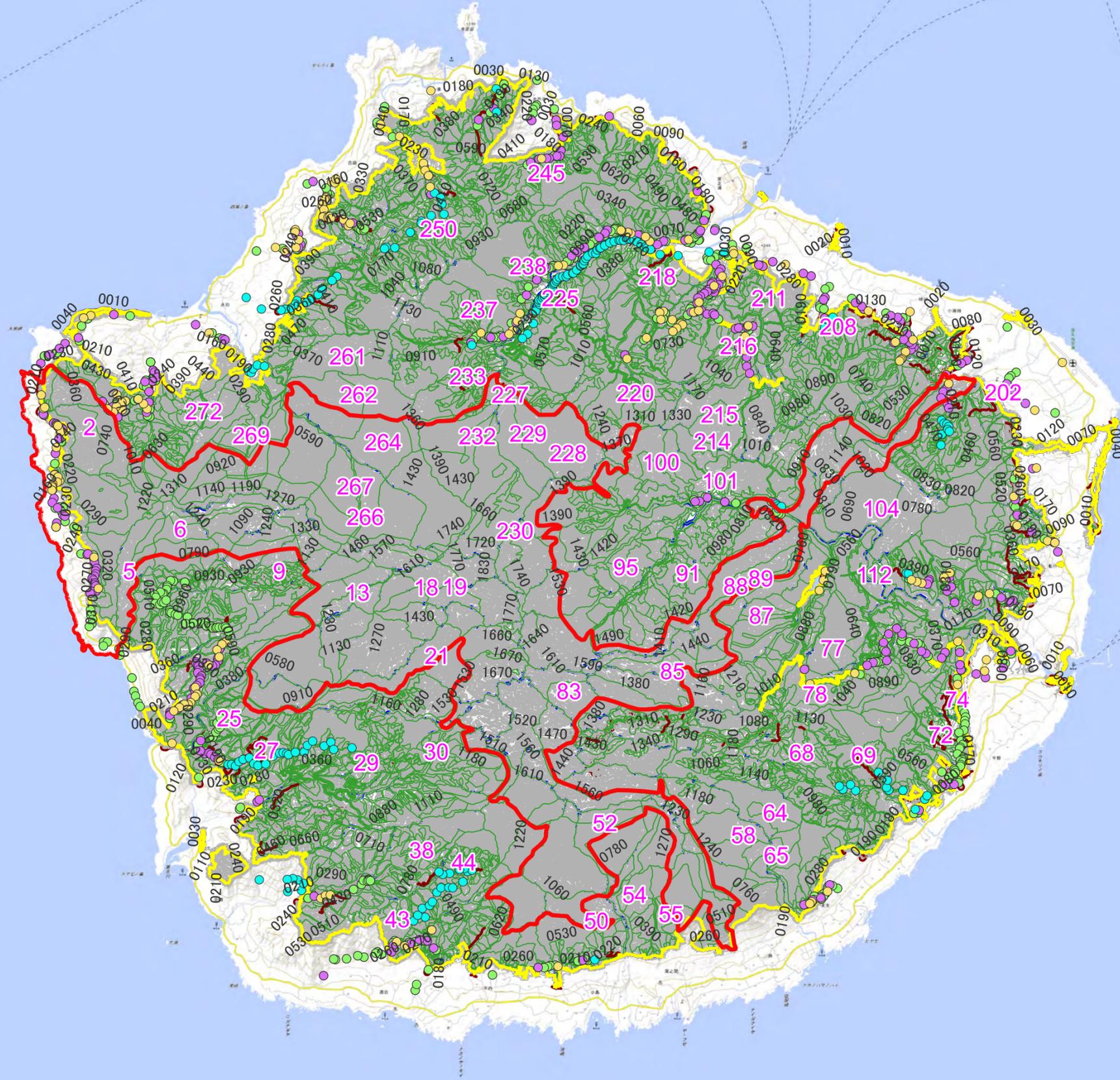
九州森林管理局では、アブラギリの侵入状況を把握するために、平成23年度に国有林内の道路・林道沿いの618箇所において、分布状況の調査を行いました。また、平成29年度には西部林道沿いで2回目の調査を行い、平成23年度調査(以下、H23調査)との比較で、分布地点数がほぼ横ばいとの調査結果になったところです。

今回その後の変化を把握するために、令和6年7月から令和7年3月にかけて、国有林内(一部民有地を含む)の道路・林道沿いにおいて、分布状況調査を行いました。

調査方法は、H23調査と同じ方法を取り、それぞれの地点で、道路から左右1m～5m、延長前後2.5m～15mの区域で生育している本数を調査しました。また、今回新たに生育が確認できた地点についても調査箇所として追加しました。

結果は、H23調査した618箇所のうち、同じ地点で確認できたのが269箇所、消滅等で生育が確認できなかったのが162箇所、調査できなかった地点が187箇所、新たに生育を確認したのが420箇所となりました。

上記のことから、アブラギリの侵入範囲が拡大傾向にあることから、屋久島森林管理署・屋久島森林生態系保全センターでは、人工造林地に侵入しているアブラギリについては下刈及び除伐時に、林道沿いのアブラギリについては林野巡視時に伐倒駆除を行うこととしています。



- 154_熊毛
- 分布が見られなかった箇所
 - 調査未実施箇所
 - 前回と同一の分布箇所
 - 新たな分布箇所
 - R6年度 調査箇所
 - 154_境界
 - 154_作業道
 - 154_小班区画
 - 154_等高線
 - 154_林道
 - 154_林班区画